

平成24年3月 浜田市議会定例会

平成24年度

# 当初予算説明資料



弥栄町 ふるさと体験村

青い海・緑の大地  
人が輝き 文化のかおるまち

浜田市

## 平成24年度当初予算の編成概要及び編成方針

### 編成概要

■平成24年度は、全国的には企業収益の回復等による税収等の増加が若干見込まれるものの、本市においては、地域経済の低迷や個人所得の減少等が依然として続く上、社会保障関係経費が高い水準で推移することが見込まれます。

■こうしたなか、平成24年度地方財政計画では、地域主権改革に沿った財源の充実を図るため、地方交付税が0.1兆円増額（0.5%増）され、一般財源総額は中期財政フレームで示されたとおり平成23年度と同水準が確保されています。

■このような状況を踏まえ、平成24年度の当初予算の編成では、引き続き『集中と選択』をテーマとし、「中期財政計画」に沿って、行財政改革の着実な実行と計画的な予算編成に努め、主要施策に重点配分をしています。また、国の動向が不透明ななか、税制改正に伴う国庫補助負担金の一般財源化や雇用対策の充実など国の予算を極力反映するよう努めたところです。

■歳出においては、7年連続で概算要求基準（シーリング）を設定し、一般経費の削減（△1%）など歳出全般にわたる徹底的な見直しを行う一方、雇用景気対策に配慮し、国の緊急雇用創出事業に加え、当初予算では2億4千万円ほどの新規枠を設定しました。

■また、中期財政計画に沿って、平成27年度までの4年間に優遇措置のある過疎債や合併特例債などを活用し、必要な社会基盤整備を集中的に実施するとともに、財政運営の健全化のため地方債の繰上償還を実施します。具体的には、中央図書館建設及び文教地区基盤整備に10億円、三隅図書館建設に3億円、繰上償還に8億円を計上したところです。

■このような取り組みの結果、平成24年度の一般会計予算総額は363億円となり、前年度と比較して、金額で6千万円の減、率にして0.2%の減と、市町村合併後最大規模であった昨年度と同程度の予算規模といたしました。

■今後の財政運営に当たっては、平成28年度以降に生じる合併による財政措置の縮減を念頭に、更なる行財政改革に取り組み、持続可能な財政体質への転換を図ってまいります。

# 平成24年度 当初予算編成方針

## 基本的考え方

- 平成24年度予算編成については、東日本大震災の影響や補助金の一括交付金化など不透明な要素もあり、今後国の動向を見極める必要があるものの、引き続き厳しい経済状況に適切に対応し、将来に希望の持てる持続可能な魅力ある浜田市を実現するため、行財政改革の着実な実行と中期財政計画、行財政改革実施計画に沿った計画的予算編成を行う。
- 財政面における合併効果を確実に反映するため、概算要求基準（以下「シーリング」という。）を定め、歳出全般にわたる徹底した見直しを行い、一般行政経費の縮減と事業の重点化を図る。
- シーリングは、平成23年度当初予算、行財政改革実施計画、中期財政計画における投資的経費枠配分を基準に別途定める。
- シーリング等の取りまとめについて、一般経費は部単位で、投資的経費は自治区単位で行うので、各部主管課は、当方針の趣旨を十分理解し、各課、本庁支所間等の調整にあたって、特段の努力をお願いします。

平成23年10月3日

企画財政部長

## ◆事業別要求区分及びシーリングの設定

区	分	要 求	備 考
1 政策的経費	主要 5 事業及び政策調整枠等を活用すべき重要なハード・ソフト事業（一体的なまちづくり）	<b>所要額</b> ハード事業については、別途通知による	☆「主要 5 事業」 ○浜田医療センター移転新築事業（終了） ○矯正施設関連事業 ○シビックコア整備事業 ○ケーブルテレビ整備事業（終了） ○旧広域行政組合担当課が実施するハード事業（消防・廃棄物処理） ☆「政策調整枠」
2 義務的経費	人件費、公債費、社会保障関係経費、債務負担行為に係る経費等	<b>所要額</b>	対象事業は「予算要求区分別事業一覧」を参考のこと
3 新規経費	「新規施策」に関する事業を構築するに当たり新たに発生する経費	<b>所要額</b>	○「浜田元気創出 アクション・プラン事業」をはじめ、雇用対策、次世代対策を含め <b>235 百万円</b> （市費：地方債＋一般財源）とする ○新規経費の事業は特に指定しないが、 <b>先進的な施策で真に必要なソフト事業</b> であること ○ここで要求する場合は財政課事前協議のこと
4 投資的経費	1 以外の投資的経費（ハード事業） 特別会計の投資的経費については別途指示（自治区予算） （個性あるまちづくり）	<b>シーリング</b> 2,866 百万円 前年比 93 百万円	○ <b>市費でシーリング</b> ○対象事業は「予算要求区分別事業一覧」を参考にし、自治区ごとのシーリング額は「投資的経費シーリング」によること
5 一般経費	1～4 以外の経費	<b>シーリング</b> 3,490 百万円 前年比 △ 219 百万円	○前年度当初予算のシーリング額（市費）から行財政改革実施計画の平成 24 年度削減分を控除した後に <b>概ね 1%カット</b> した額を限度とする ○上記 1%カット前の額までは要求許容額とする ○対象事業、部別のシーリング額、要求許容額は「予算要求区分別事業一覧」、「一般経費シーリング」によること

## ◆予算要求に当たっての留意事項

- ① 当初予算要求書は、主管課を通じて必要書類とともに6部提出のこと
- ② 当初予算要求書は財務会計システムにより作成することとなるので、操作方法等の理解に努めること
- ③ 社会保障費や附属機関に要する経費等の同一の法令等に基づいて実施する事業については、必ず本庁担当課で取りまとめのうえ予算要求を行うこと
- ④ 上記以外の事業（政策的経費、投資的経費を除く）についても、同一の目的で同一の手法により実施する事業は、原則として本庁担当課で予算要求を行うこと
- ⑤ 平成24年度当初予算は、通年予算を編成する7年目となるので、市全体で実施する経費については、十分調整・精査はされていると考えるが、再度、主管課及び本庁・支所の担当課において、共通ベースとなる部分の調整・精査を徹底したうえで要求すること（一体的なまちづくりに反しない範囲において、地域の個性、特色を活かすまちづくりのための共通ベース部分を上回る経費については、地域振興基金の活用等を検討すること）
- ⑥ 一般経費、投資的経費（自治区枠）のシーリング額については、別途通知するのでそれにより確認すること
- ⑦ 一般経費は、シーリングの枠内で要求するのが基本であるが、前年度シーリング額から行財政改革実施計画の平成24年度削減分を控除した後の額を要求許容額とし、その額までの要求は認めるものとする（シーリングオーバー分については、財政課の査定によりシーリングに収めることとなるので、極力シーリングに収めるよう部内で十分精査、調整すること）
- ⑧ 国の経済対策で交付された「住民生活に光をそそぐ交付金」・「きめ細かな交付金」を活用した事業（平成22年度3月補正予算計上）の継続については、サマーレビューで財政協議の整ったものは新規経費、それ以

外は一般経費で要求を行うこと

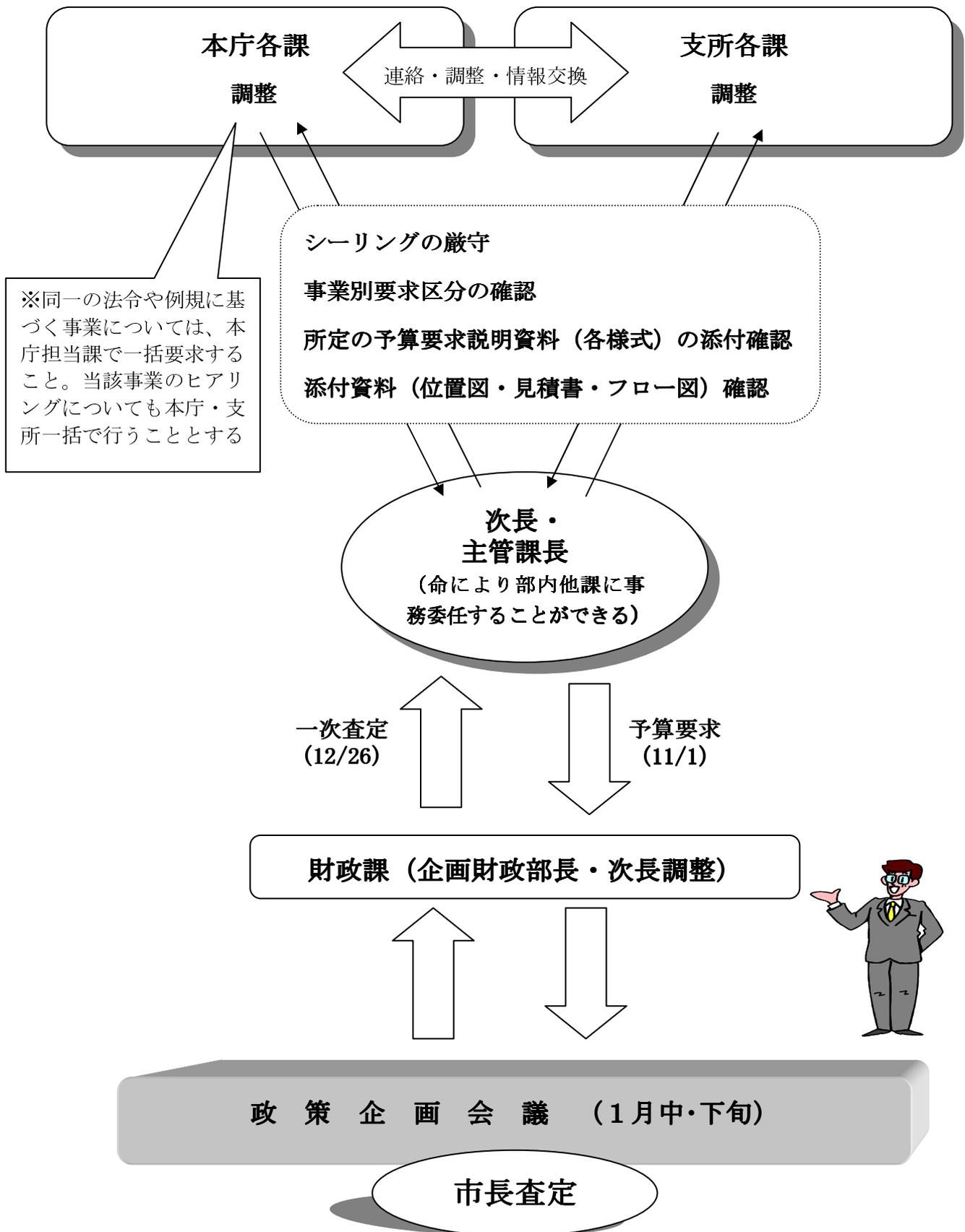
- ⑨ 浜田元気創出アクション・プラン事業については、第1弾（平成21～23年度）の継続はサマーレビューで財政協議の整ったものは新規経費（事業内容の見直しを条件とする。）、それ以外は一般経費で要求、第2弾（平成22～24年度）は新規経費で要求を行うこと
- ⑩ 「緊急雇用創出臨時特例基金事業」・「ふるさと雇用再生特別基金事業」の継続については、事業名を変更のうえ、サマーレビューで財政協議の整ったものは新規経費、それ以外は一般経費で要求を行うこと
- ⑪ 「きめ細かな施設整備事業（基金）」の継続については、サマーレビューで財政協議の整ったものは新規経費、それ以外は一般経費で要求を行うこと
- ⑫ ⑧⑨⑩⑪については、臨時の雇用・経済対策事業であるため、事前に提示した期間内で完結することが前提であることを踏まえ、今回の要求には慎重を期すとともに、新規経費での取り扱いも今回限りとする。また、一般経費要求分については、財源は担保されていないので各部内での調整に十分注意すること
- ⑬ 一般経費において、シーリングを遵守し要求されたものについては、基本的に要求内容を尊重する（著しい後年度負担を要するもの等、財政的見地から問題があるものは除く）
- ⑭ 一般経費において、財政課査定により削減された場合でも、シーリング枠は担保する
- ⑮ 予算ヒアリングの日程は、各部単位で調整しているが、ヒアリングは原則として「課」単位で行うため、部内のヒアリング順については主管課で調整のうえ、必ず主管課が同席すること
- ⑯ 上記③④の同一の事業について、予算ヒアリングを本庁・支所別々に実施することがあってはならないので、十分留意すること
- ⑰ 財政サイドのヒアリング出席者は、企画財政部長、次長、財政課長、係長、予算担当者を予定している

- ⑱ 財務会計システムによる予算要求書に加えて、所定の予算要求附属資料（債務負担行為事業明細書、投資的経費説明資料、地域振興基金充当要求書等）がある場合は、必ず提出すること
- ⑲ 予算要求附属資料「様式 1 2 地域振興基金充当要求書」は、必ず自治振興課の確認を得たうえで、主管課より提出すること
- ⑳ 嘱託・臨時職員の要求については、必ず本庁においては人事課、支所においては自治振興課と事前協議のうえ要求し、要求書においては積算基礎欄の数式機能を利用し算出根拠を明らかにすること（人数、月数等）
- ㉑ 上記⑱⑲の他、ハード事業については位置図、平面図、見積書等、ソフト事業についてはフロー図等を添付し、ヒアリングの際にはそれを用いて分かりやすい説明に努めること
- ㉒ 事業予算の分離、統合が必要な場合は、当該事業を担当する本庁・支所間で十分なすり合わせを行い、主管課を通じて予算の整合を図ること
- ㉓ 行政評価の2次評価（外部委員を交えた外部評価）や、監査委員による指摘を十分踏まえたうえで要求を行うこと
- ㉔ 事業予算は目的別に編成するものであり、事業の一部を他部課で実施する場合においても当該事業内で予算化し、他部課へは予算の配当替により対応すること

## ◆予算編成日程（予定）

- 10月 3日（月） 予算編成方針説明会・・・シーリングは別途提示  
（13時30分～：本庁講堂ABC）
- 11月 1日（火） 要求書提出期限（6部提出）**  
**15：00まで（締切厳守）**
- 11月 7日（月）～ 財政ヒアリング(査定)・・・ヒアリング日程表参照
- 12月26日（月） 一次査定内示（予定）
- 12月28日（水） **復活要求書（様式10）提出期限（締切厳守）**
- 1月11日（水） **市長ヒアリング要求書（様式9）提出期限**  
**15：00まで（締切厳守）**
- 1月 中・下旬 政策企画会議ヒアリング・市長査定(当初予算決定)

## ◆予算要求・決定の流れ



# 予算要求と査定結果

(単位:百万円)

平成24年度当初予算		議会	総務部	企画財政部	健康福祉部	市民環境部	産業経済部	建設部	消防本部	教育委員会	合計
		事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費	事業費
一般経費	要求	24	712	258	551	509	1,077	441	110	1,334	5,017
	査定	24	705	252	539	500	1,059	439	109	1,324	4,951
	差引	0	△ 7	△ 6	△ 12	△ 9	△ 18	△ 2	△ 1	△ 10	△ 66
(参考) 55億円財源計画反映額			△ 1	△ 2	△ 3	0	△ 8	△ 1	0	△ 1	△ 16
義務的経費	要求	200	5,502	7,107	7,348	2,054	62	67	86	160	22,585
	査定	200	5,501	7,097	7,333	2,037	55	67	85	154	22,529
	差引	0	△ 1	△ 10	△ 15	△ 17	△ 7	0	△ 1	△ 6	△ 56
政策的経費	要求	0	125	343	19	1,136	350	2,277	201	1,077	5,529
	査定	0	112	339	18	1,118	314	2,155	148	1,041	5,245
	差引	0	△ 13	△ 4	△ 1	△ 18	△ 36	△ 122	△ 53	△ 36	△ 284
投資的経費	要求	0	357	142	13	0	643	1,645	43	735	3,578
	査定	0	357	65	13	0	626	1,581	43	582	3,267
	差引	0	0	△ 77	0	0	△ 17	△ 64	0	△ 153	△ 311
新規経費	要求	0	34	19	5	1	144	56	1	99	359
	査定	0	4	18	4	1	141	50	0	89	308
	差引	0	△ 30	△ 1	△ 1	0	△ 3	△ 6	△ 1	△ 10	△ 51
合計	要求	224	6,730	7,868	7,937	3,700	2,276	4,486	440	3,406	37,068
	査定	224	6,680	7,772	7,906	3,656	2,195	4,293	384	3,190	36,300
	差引	0	△ 50	△ 96	△ 31	△ 44	△ 81	△ 193	△ 56	△ 216	△ 768

※上記の金額は、四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。